

昭和15年に今井よねが刊行 した紙芝居「ナイチンゲール」

ナイチンゲール研究学会第33回研究懇親会

平尾真智子

(順天堂大学医史学研究室、看護史研究会)

はじめに

- ナイチンゲール関連の書籍の出版についての研究はあるが、紙芝居はない。
- 今回、戦前期の紙芝居「ナイチンゲール」がみつかった。
- クリスチャンの女教師である今井よねによる創作である。賀川豊彦の影響を受けている。
- 福音紙芝居を多く手がけ、ナイチンゲールの物語も信仰に結び付けて編集している。

今井よねの人物像

- 1897(明治30)年、三重県津市にて生まれる
- 1917(大正6)年、三重女子師範学校を卒業
東京女子高等師範学校入学。
- 1918(大正7)年、洗礼を受ける。
- 1921(大正10)年、富山県滑川高等女学校に
赴任。
- 1923(大正12)年、賀川豊彦に出会う。
関東大震災。上京し賀川の救援活動に参加。

- 1925(大正14)年、東京本所区の小学校訓導
- 1927(昭和2)年、渡米。フィラデルフィアで学ぶ。
- 1931(昭和6)年、帰国。(街頭紙芝居、登場)
- 1932(昭和7)年、本所区に教会を開く。
紙芝居を伝道に活用、福音紙芝居を制作。
- 1933(昭和8)年、紙芝居刊行会開設。
紙芝居伝道団設立。
- 1934(昭和9)年、『紙芝居の実際』を刊行。

- 1942(昭和17)年、日本少国民文化協会、紙芝居部会の参事。国策紙芝居の出版盛況。紙芝居全盛期。
- 1945(昭和20)年、東京大空襲。終戦。
- 1946(昭和21)年、洋服仕立て業スミレ屋
開業。
- 1963(昭和38)年、大学婦人協会
東京支部長となる。
- 1968(昭和43)年、70歳。松沢教会で葬儀。

今井よねと看護との関係

- 1926(昭和2)年、賀川豊彦の「イエスの友看護婦ミッション」(大阪)の発起人となる。
- 「イエスの友看護婦ミッション」とは
目的:看護生活を通して基督の犠牲愛を
鼓吹し、且つ実現する。
会員:看護婦、又は類似の業務に従事する者
事業:「愛餐叢書」・会報の発行、研究会・
修養会、相互扶助、看護婦ホームの経営

賀川豊彦の看護に関する著作

- 『看護婦崇拜論』、雲の柱社、大正15年.
（昭和12年で第6版、定価10銭）
- 『病人慰安法』、イエスの友看護婦ミッション、
昭和2年. 定価10銭
- 『看護婦の修養』、雲の柱社、昭和3年.
（昭和12年再版、定価10銭）

* 賀川豊彦(1888～1960)社会運動家、牧師

今井よねの紙芝居作品(約50作品)

- 「少年ダビデ」「善きサマリア人」「獅子穴のダニエル」「ダマスコス途上のパウロ」「クリスマス物語」「幼児モーゼ」「ヨナ物語」「桑の木のザアカイ」「ヨセフ」「放蕩息子」「アブラハム」「ダビデとヨナタン」(聖書物語シリーズ)
- 「イエス伝」シリーズ12巻
- 「石井十次」「細川忠興夫人」「カガワトヨヒコ」「矢島楫子」「新島襄」(日本信仰英雄物語)
- 「義農作兵衛」「新体制さるかに」「二宮金次郎」「小楠公の母」(国策紙芝居)など

紙芝居の歴史

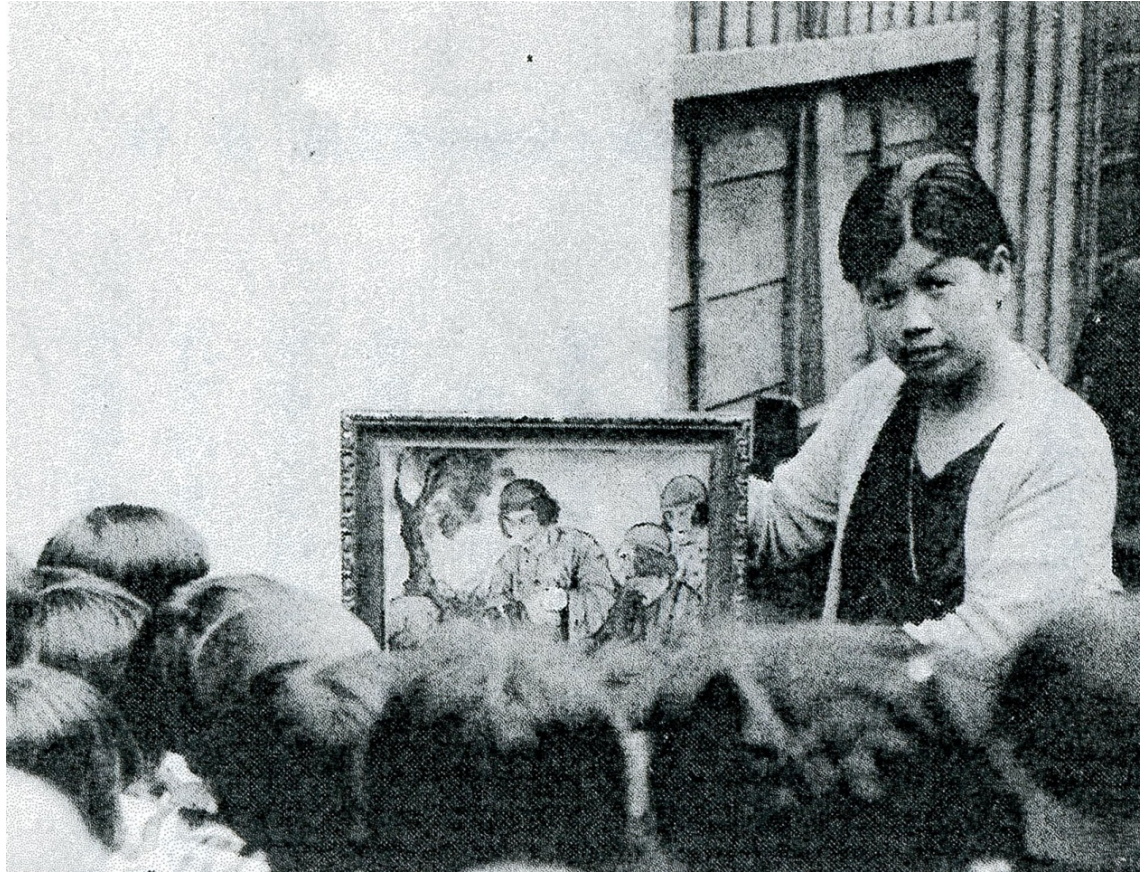
- 江戸末期：写し絵が寄席で上映される。
- 明治中期：立絵（紙人形）芝居が寄席に登場
- 昭和6年：絵物語形式の街頭紙芝居登場。
- 昭和10年：幼児教育者高橋五山が紙芝居を作る（教育紙芝居）。
- 昭和12年：紙芝居を視聴覚教育に採用。
（印刷紙芝居）
- 昭和28年：テレビ放送開始。

紙芝居「ナイチンゲール」

- 今井よね編
- 三浦宏之画
- 紙芝居刊行会発行(本所区)
- 秀栄堂印刷所(神田区)
- 全20枚
- 定価1円20銭
- 昭和15年発行

(背面に英文のメモ書きがあり、本人のものと推定される)

今井よねの写真



1933年ごろ

参考文献

- 上地ちづ子、今井よねと福音紙芝居、児童文学研究、第20号、1988.
- 上地ちづ子、今井よねの出版紙芝居と紙芝居観、日本のキリスト教児童文学、国土社、1995.
- 上地ちづ子、紙芝居の歴史、久山社、1997.
- 今井よね、紙芝居の実際、基督教出版社、1935.